

注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）**

- 2.1 本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者  
 2.2 髄腔内 [ 14.2.2 参照 ]

**3. 組成・性状****3.1 組成**

販売名	注射用フィルデシン1mg	注射用フィルデシン3mg
有効成分	1バイアル中 ピンデシン硫酸塩 1mg	1バイアル中 ピンデシン硫酸塩 3mg
添加剤	1バイアル中 D-マンニトール 5mg、 水酸化ナトリウム、硫酸	1バイアル中 D-マンニトール15mg、 水酸化ナトリウム、硫酸

**3.2 製剤の性状**

販売名	注射用フィルデシン1mg 注射用フィルデシン3mg 凍結乾燥注射剤
剤形・性状	白色の軽質の塊又は粉末である。水に溶けやすい。 吸湿性である。
pH	3.5～5.5（1mg/mL水溶液）
浸透圧比	約1（1mg/mL生理食塩液） （生理食塩液に対する比） ので、投与（ツブ） Y ) y 末梢神経障害・筋力低下が強くあらわれることがある。 [ 8.1、 11.1.7 参照 ]
	<b>9.1.4 虚血性心疾患のある患者</b> 心筋虚血症状が強くあらわれることが少行が報告されている。 [ 16.3.3 参照 ]
	<b>9.7 小児等</b> 小児等に投与する場合には、副作用の発現に特に注意の報告がある

機序は不明

1)。

アゾール系抗真菌剤 本剤の筋神経系の副  
イトラコナゾール 等

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
フェニトイン	フェニトインの血中濃度が低下し、痙攣が増悪するとの報告があるので、フェニトインの投与量を調節することが望ましい。	機序は不明 類薬のピンブラスチンでは、フェニトインの吸収の減少又は代謝が亢進するとの報告がある。

## 11. 副作用

